

2016年11月土曜閉所強調月間

アンケート結果速報



道建労協加盟単組組合員の皆さまには、いつも弊協議会の活動にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

さて、恒例となっております6月と11月の土曜閉所運動、今回は2016年11月実施時のアンケートがまとまりましたので公開させていただきます。

ここ数年、業界の意識がより高まっており、休む意識が根付いてきていると言えます。引き続き道建労協は、労使一体の取り組みとして更に連携を深め、運動の活性化を啓蒙していきます。その為にもこの業界で働く自分たちが働き方を見直し、改善を図らなければ、業界全体の魅力向上化もありえません。改めて皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

今回の土曜閉所運動における建設産労懇共通のスローガンは、

『 休むことが当たり前。意識を変えよう。統一土曜閉所 』

でした。この“休むことが当たり前”と言葉に抵抗感を持たれた方もいらっしゃると思います。“出来るわけがない”“お客さんが言うのだから”“工期が決まっている”などの様々な否定的な言葉を心のなかで探してはいませんか。だとすればそれは、現実には直視しながらも今の状況をどうにか改善したいと悩んでいる自分自身の心の叫びであり、少しでもより良い未来を作ろうと真剣に取り組まれている証明でもあります。誰もが幸せを感じる業界へ変革できるように前進していきたいという強い願いを込めたスローガンを意識し、労使一体となって好循環のスパイラルを発生させる。その一歩が今後の人材確保、入職者の増加、女性技術者が活躍できる環境づくりを生み出し、産業の魅力化に繋がるのです。

今回の回収率 95.5% (前回6月・95.4%) 前回の回収率より 0.1%上昇し、高い回収率を維持する事ができました。皆様のご協力に感謝いたします。

単組別回答	事業所数	組合員数	回収率	総組合員数
大林道路	102	884	97.5%	907
大成ロック	106	658	91.6%	718
東京舗装	26	89	98.9%	90
NIPPO	409	1,192	93.6%	1,273
フシタ道路	58	149	96.1%	155
前田道路	243	1,722	97.2%	1,772
三井住建	56	257	95.5%	269
合計	1,000	4,951	95.5%	5,184

地域別回答事業所数		
地域	事業所数	組合員数
北海道	77	257
東北	141	596
関東	278	2,121
中部	112	496
関西	93	500
中国	107	326
九州	109	389
北陸	41	123
四国	42	143
全国	1,000	4,951

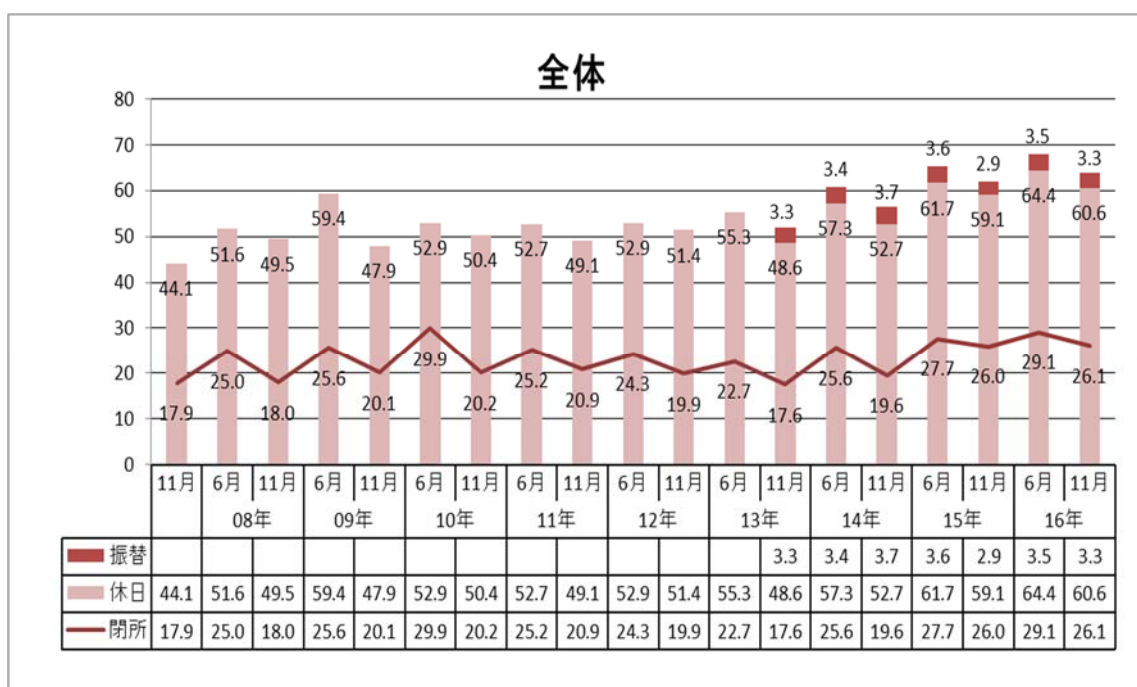
回収率推移(11月)

単位:%

回収率	大林	大成	東舗	NIPPO	フジタ	前田	三住	合計
2009年	99.4	85.0	88.0	59.8	85.5	90.9	97.6	81.4
2010年	97.6	91.6	85.0	65.1	88.9	84.1	92.3	81.8
2011年	94.0	85.7	73.4	88.0	97.0	86.0	96.5	88.5
2012年	91.0	80.2	77.6	95.5	93.6	87.7	97.6	89.9
2013年	92.8	77.7	82.2	85.4	96.7	94.1	98.0	89.3
2014年	90.4	82.0	83.6	90.9	96.9	94.0	94.6	90.9
2015年	100	90.8	85.7	93.8	96.8	98.1	79	95
2016年	97.5	91.6	98.9	93.6	96.1	97.2	95.5	95.5

事業所形態	構成比	大林	大成	東舗	NIPPO	フジタ	前田	三住	
営業所・出張所 (営業機能あり)	377	37.7%	42	58	13	125	0	113	26
出張所・作業所 (営業機能なし)	10	1.0%	7	0	1	0	1	0	1
作業所 (単独工事)	132	13.2%	2	4	0	59	47	11	9
合材工場 乳剤工場	322	32.2%	37	34	7	127	0	103	14
本・支店等内勤	149	14.9%	10	9	4	98	10	12	6
その他	10	1.0%	4	1	1	0	0	4	0
合計	1000	100.0%	102	106	26	409	58	243	56

●全体の数値



単組別事業所閉所率(全体)

	11月5日	11月12日	11月19日	11月26日	事業所数	平均
大林	11.8%	34.3%	10.8%	14.7%	102	17.9%
大成	12.3%	21.7%	12.3%	16.0%	106	15.6%
東舗	38.5%	57.7%	57.7%	38.5%	26	48.1%
NIPPO	28.7%	42.7%	33.3%	31.9%	409	34.1%
フジタ	31.0%	46.6%	22.8%	20.7%	58	30.3%
前田	7.4%	27.2%	9.5%	7.4%	243	12.9%
三住	39.3%	60.7%	33.9%	46.4%	56	45.1%
全社	21.0%	37.4%	23.0%	22.8%	1000	26.1%

地域別事業所閉所率(全体)

	11月5日	11月12日	11月19日	11月26日	事業所数	平均
北海道	14.3%	35.1%	28.6%	35.1%	77	28.2%
東北	17.0%	41.8%	25.5%	22.7%	141	26.8%
関東	4.7%	45.3%	21.9%	21.9%	278	23.5%
中部	11.6%	21.4%	25.0%	17.9%	112	19.0%
関西	10.8%	22.6%	17.2%	24.7%	93	18.8%
中国	16.8%	50.5%	24.3%	19.6%	107	27.8%
九州	19.3%	36.7%	23.9%	21.1%	109	25.2%
北陸	22.0%	24.4%	22.0%	24.4%	41	23.2%
四国	9.5%	35.7%	11.9%	28.6%	42	21.4%
全国	21.0%	37.4%	23.0%	22.8%	1000	26.1%

単組別休日取得率(全体)

	11月5日	11月12日	11月19日	11月26日	組員数	平均	振休加算	振替率
大林	49.0%	67.4%	56.1%	55.1%	884	56.9%	58.5%	3.8%
大成	52.1%	62.8%	58.4%	57.1%	658	57.6%	59.1%	3.6%
東舗	44.9%	74.2%	68.5%	58.4%	89	61.5%	61.5%	0.0%
NIPPO	60.2%	70.4%	65.4%	63.8%	1,192	64.9%	68.7%	10.7%
フジタ	47.7%	57.0%	43.0%	40.3%	149	47.0%	51.2%	7.9%
前田	47.0%	75.6%	57.2%	53.7%	1,722	58.4%	62.3%	9.3%
三住	77.0%	93.4%	78.6%	81.7%	257	82.7%	91.0%	47.8%
全社	52.8%	71.5%	60.0%	58.0%	4,951	60.6%	63.9%	11.9%

振替率は休めなかった人が振替休日を取得した割合

地域別組員休日取得率(全体)

	11月5日	11月12日	11月19日	11月26日	組員数	平均	振休加算
北海道	48.2%	67.7%	54.1%	59.1%	257	57.3%	65.0%
東北	47.8%	67.1%	52.9%	53.4%	596	55.3%	58.9%
関東	56.6%	77.8%	63.7%	59.9%	2,121	64.5%	67.3%
中部	50.4%	60.3%	58.7%	54.6%	496	56.0%	60.2%
関西	51.8%	65.6%	60.6%	60.6%	500	59.7%	63.8%
中国	49.1%	70.6%	55.2%	50.3%	326	56.3%	59.3%
九州	55.0%	69.2%	65.0%	58.9%	389	62.0%	65.0%
北陸	41.5%	68.3%	55.3%	61.0%	123	56.5%	58.3%
四国	50.3%	76.9%	51.0%	71.3%	143	62.4%	68.4%
全国	52.8%	71.5%	60.0%	58.0%	4,951	60.6%	63.9%

結果は、閉所率が 26.1%と前回の 11 月よりも 0.1 ポイント上昇しました。休日取得率については、暦通り休日取得出来た組合員が 60.6%（前年 11 月 +1.5%）、振替休日を取得できた組合員を含めた休日取得率は 63.9%（前年 11 月 +1.9%）となりました。また、土曜日出勤をして振替休日を取得出来た方の率は 11.9%で、前年 6 月のデータより 1.1 ポイント（前年 6 月・13.0%）下降し、昨年 11 月からは 3.7 ポイントの上昇（前年 11 月・8.2%）を示しました。数値自体は前年 11 月よりも若干上がっており、北海道と北陸が繁忙期を迎えている厳しい状況であるものの、11 月のなかでは統計を取り始めてから最高値となりました。

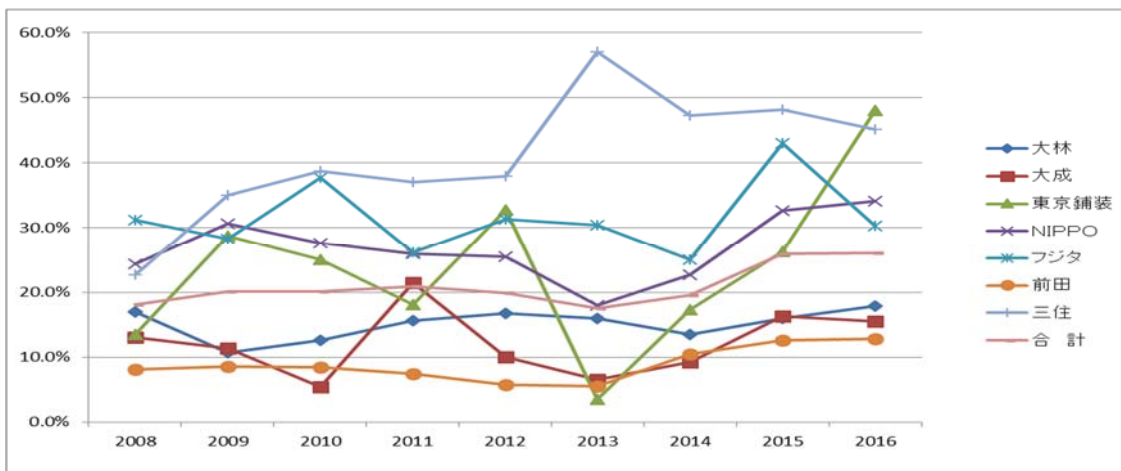
一方、振替休日については、事前PRを行い、職員全員にしっかり取り組んでもらうよう労使一体で要請していますが、前もって休めないことがわかっているにもかかわらず振替休日が取得できていない状況はなぜなのか、今一度、組合員の皆さんに考えていただきたいポイントで数値は微増しているもののまだまだ改善の余地があると思えます。所属部内の上下関係・暗黙の了解など様々な事情があるにせよ、“振替休日を取る環境にない”という考え方はもはや理由になりません。前述で述べたように“休むことが当たり前”・“振替休日を取得して当たり前”の思考へと意識を変え、まずは『休むための計画』を工程会議で立てて現実的に取り組んでみることをお願いいたします。

各単組別の閉所率を見ますと、前回に比べ閉所率が全体で 26.1%（前年 11 月・26.0%）と 0.1%上昇しました。特に、東京舗装工業・NIPPO の上昇率は高く、全体平均を見ても 2 社による底上げが全体の数字を押し上げたと言っても過言ではないです。そのなかで、ここ数年変わらず意識を高く持って取組んでいた三井住建道路の落ち込みが気になるところで

す。休日取得で見ると、全体で 60.6%（前年 11 月・59.1%）と 1.5%と上昇しており、大林道路・大成ロテック・東京舗装工業・フジタ道路の意識の高さが休日取得に表れています。三井住建道路を除く他単組の組合員はこの数値から“何ができない理由になっているのか、その為に自分達に何ができるのか”を考え、次回の意識改善に繋げていただきたいです。

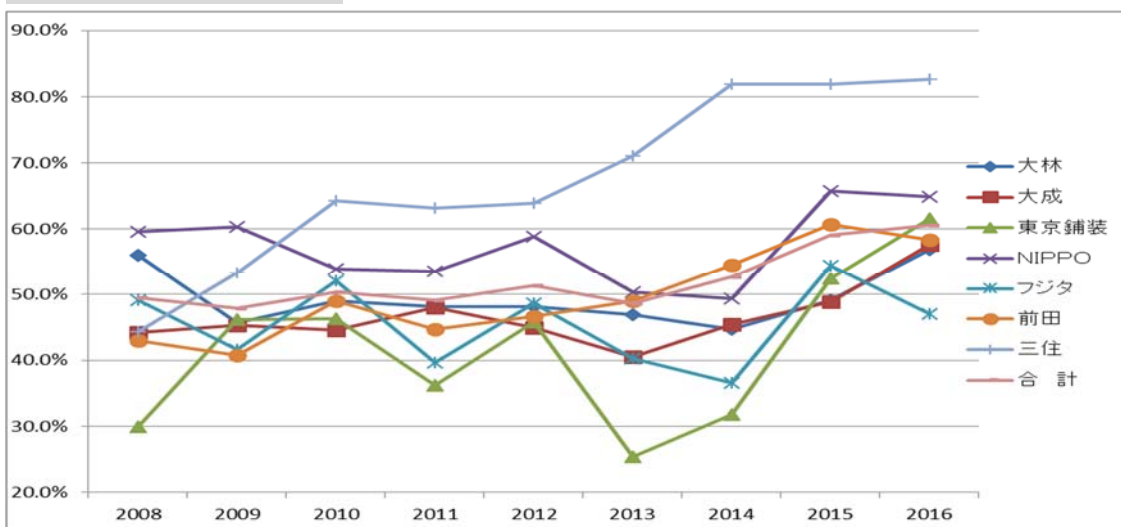
地域別では、関東地区の第 2 土曜日に注目です。南関東 5 都県で実施されているアスファルト合材工場の第 2 土曜日・日曜日の閉所活動が今回も 45.3%（前年 11 月・45.6%）という高い数値を示しました。これは合材協会の熱い思いと活動が反映した結果と言えます。また、中国地区の合材協会が閉所にむけた継続的な取り組みを続けている結果が 50.5%と言う閉所率に表れています。関東地区・中国地区において、他の地区の先駆者となって“熱い思いの詰まった閉所活動”を続けていただきたいです。道建労協として、協会・企業・組合で連携し、今以上に活性化させ、低迷している関西地区及び中部地区に大きな影響を及ぼす波となるよう引き続き積極的な PR 活動をしていきます。

<単組別閉所率推移>

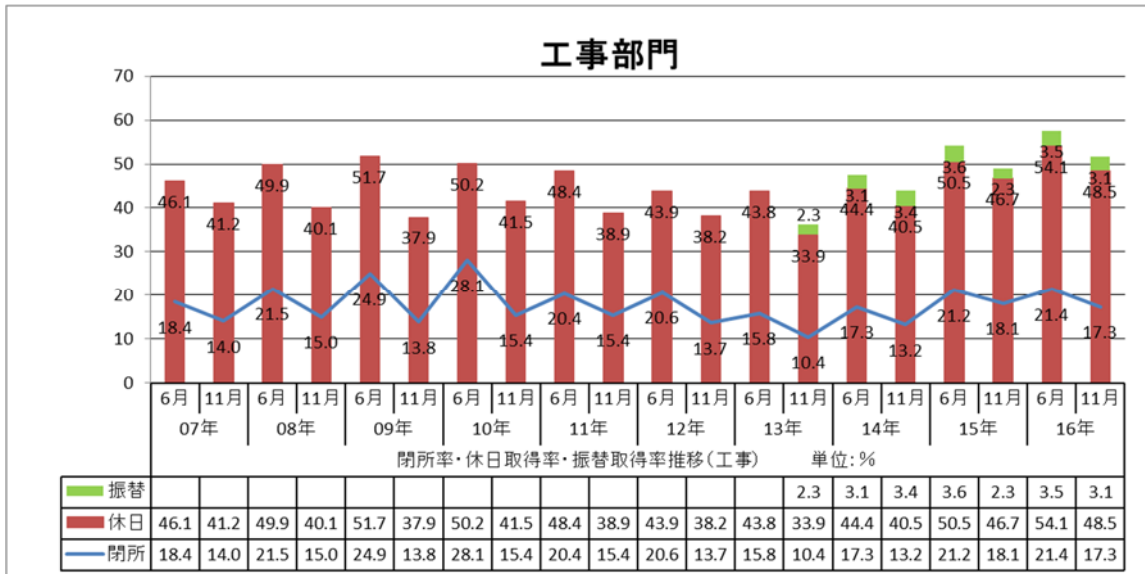


	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
大林	17.0%	10.7%	12.6%	15.7%	16.8%	16.0%	13.5%	16.0%	17.9%
大成	13.1%	11.4%	5.4%	21.4%	10.1%	6.5%	9.2%	16.3%	15.6%
東京舗装	13.5%	28.7%	25.0%	18.1%	32.8%	3.5%	17.3%	26.3%	48.1%
NIPPO	24.4%	30.6%	27.7%	25.9%	25.5%	18.0%	22.7%	32.7%	34.1%
フジタ	31.3%	28.3%	37.7%	26.1%	31.4%	30.4%	25.1%	43.0%	30.3%
前田	8.1%	8.5%	8.4%	7.4%	5.7%	5.6%	10.5%	12.6%	12.9%
三住	22.7%	35.0%	38.8%	37.1%	38.0%	57.0%	47.3%	48.2%	45.1%
合計	18.0%	20.1%	20.2%	20.9%	19.9%	17.6%	19.6%	26.0%	26.1%

<単組別休日取得率推移>



	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
大林	56.0%	45.7%	49.0%	48.1%	48.1%	46.9%	44.7%	49.1%	56.9%
大成	44.2%	45.3%	44.6%	48.1%	45.0%	40.5%	45.4%	48.9%	57.6%
東京舗装	29.9%	46.2%	46.3%	36.2%	45.8%	25.3%	31.8%	52.4%	61.5%
NIPPO	59.6%	60.4%	53.9%	53.5%	58.8%	50.4%	49.4%	65.7%	64.9%
フジタ	49.1%	41.7%	52.1%	39.7%	48.6%	40.3%	36.6%	54.4%	47.0%
前田	43.0%	40.8%	48.9%	44.6%	46.7%	49.0%	54.5%	60.7%	58.4%
三住	44.4%	53.4%	64.3%	63.2%	63.9%	71.0%	81.9%	81.9%	82.7%
合計	49.5%	47.9%	50.4%	49.1%	51.4%	48.6%	52.7%	59.1%	60.6%



#### 単組別事業所閉所率(工事)

	11月5日	11月12日	11月19日	11月26日	事業所数	平均
大林	3.9%	15.7%	2.0%	5.9%	51	6.9%
大成	8.1%	11.3%	8.1%	11.3%	62	9.7%
東鋪	28.6%	42.9%	42.9%	21.4%	14	33.9%
NIPPO	15.8%	29.1%	24.7%	19.8%	184	22.3%
フジタ	22.9%	43.8%	19.1%	14.6%	48	25.1%
前田	2.4%	12.1%	3.2%	2.4%	124	5.0%
三住	36.1%	66.7%	30.6%	44.4%	36	44.4%
全社	12.9%	25.9%	15.7%	14.5%	519	17.3%

#### 地域別事業所閉所率(工事)

	11月5日	11月12日	11月19日	11月26日	事業所数	平均
北海道	17.1%	26.8%	22.0%	26.8%	41	23.2%
東北	21.1%	38.2%	23.7%	21.1%	76	26.0%
関東	4.8%	24.5%	8.2%	6.8%	147	11.1%
中部	21.0%	16.1%	22.6%	14.5%	62	18.5%
関西	12.8%	21.3%	8.5%	17.0%	47	14.9%
中国	15.7%	29.4%	23.5%	17.6%	51	21.6%
九州	18.2%	29.1%	18.2%	16.4%	55	20.5%
北陸	0.0%	5.6%	5.6%	5.6%	18	4.2%
四国	4.5%	27.3%	4.5%	13.6%	22	12.5%
全国	12.9%	25.9%	15.7%	14.5%	519	17.3%

単組別休日取得率(工事)

	11月5日	11月12日	11月19日	11月26日	組合員数	平均	振休加算	振替取得
大林	36.4%	57.6%	46.1%	45.3%	590	46.4%	47.1%	1.3%
大成	40.0%	52.7%	49.5%	48.2%	438	47.6%	48.7%	2.2%
東鋪	36.8%	70.2%	57.9%	50.9%	57	53.9%	53.9%	0.0%
NIPPO	39.4%	57.2%	49.9%	45.6%	647	48.0%	53.0%	9.6%
フジタ	31.8%	46.4%	32.7%	27.3%	110	34.5%	40.0%	8.3%
前田	30.9%	67.7%	45.3%	39.2%	1043	45.8%	48.6%	5.3%
三住	76.0%	95.0%	76.0%	79.3%	179	81.6%	92.2%	57.6%
全社	37.8%	62.3%	48.6%	45.1%	3,064	48.5%	51.6%	6.1%

振替率は休めなかった人が振替休日を取得した割合

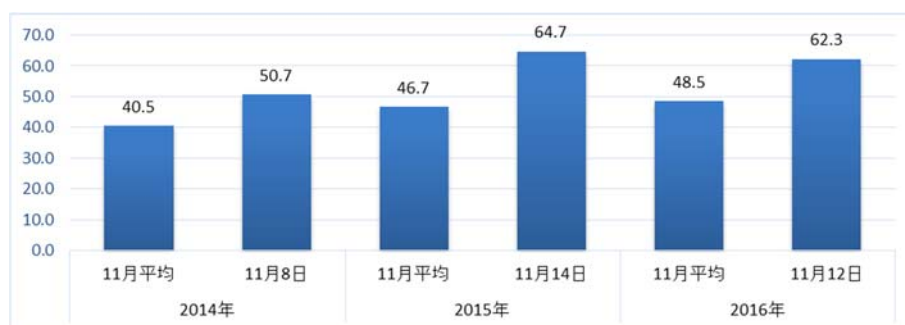
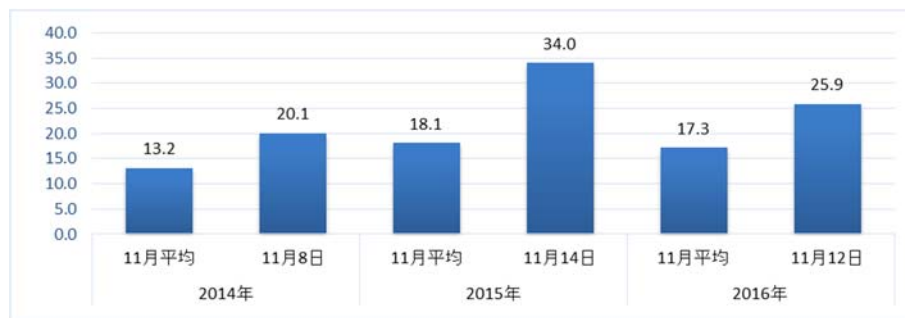
地域別組合員休日取得率(工事)

	11月5日	11月12日	11月19日	11月26日	組合員数	平均	振休加算	振替取得
北海道	39.1%	63.6%	44.6%	49.5%	184	49.2%	53.9%	9.4%
東北	37.6%	64.6%	45.8%	45.8%	404	48.5%	51.0%	4.9%
関東	33.2%	65.0%	46.6%	40.3%	1,147	46.3%	49.7%	6.3%
中部	42.1%	53.1%	54.3%	49.6%	337	49.8%	52.7%	5.9%
関西	41.8%	57.9%	51.2%	50.0%	340	50.2%	53.3%	6.2%
中国	41.2%	62.0%	50.9%	43.1%	216	49.3%	51.4%	4.1%
九州	43.2%	59.5%	56.0%	47.5%	257	51.6%	53.9%	4.8%
北陸	34.1%	65.9%	50.6%	55.3%	85	51.5%	53.5%	4.2%
四国	45.7%	69.1%	37.2%	61.7%	94	53.5%	58.8%	11.4%
全国	37.8%	62.3%	48.6%	45.1%	3,064	48.5%	51.6%	6.1%

振替率は休めなかった人が振替休日を取得した率

●<工事部門の閉所率・休日取得率 過去3年間の推移(全体と第2土曜日)>

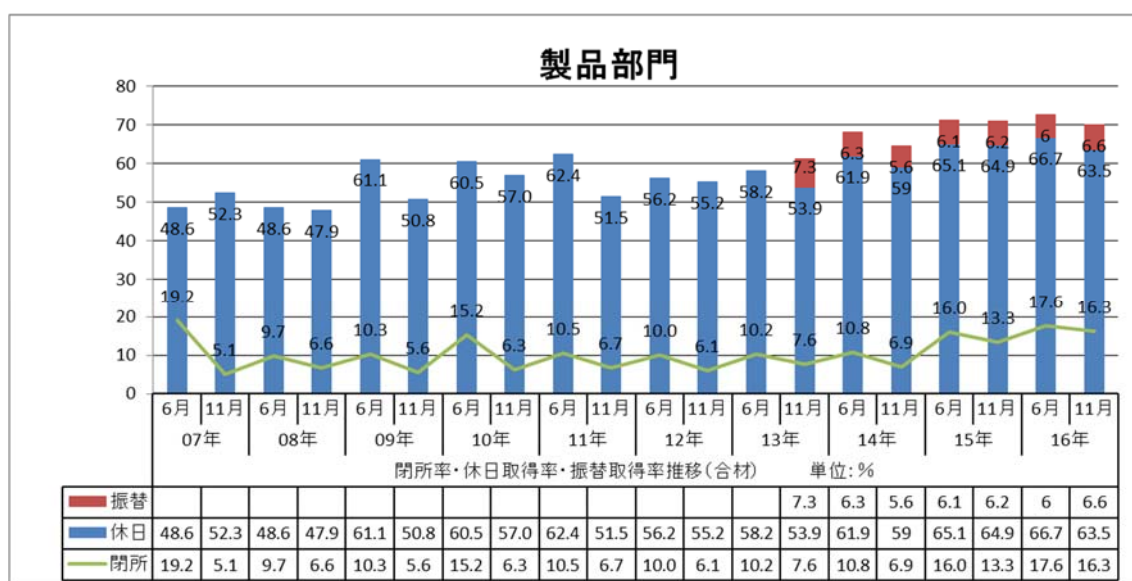
(上:閉所率、下:休日取得率)



工事部門においては、閉所率が17.3%（前年11月・18.1%）と下回る結果となり、休日取得については48.5%（前年11月・46.7%）と1.8ポイント上昇しました。大林道路・大成ロテック・東京舗装工業・NIPPOの数値が昨年より良くなっていることは、本当に素晴らしいことで嬉しい限りです。各社・各単組の工事部門でかなり意識的に取り組んでいただいた結果だと思われま

す。一方で今までどおり、顧客の依頼によりどうしても工程を入れなければならなかったという声も変わらず残っていました。土曜日にずれ込んでしまうのは仕方ないと思います。大切なのは事前の準備ですから、土曜日の工程を空けておく、つまり閉所・休工・休日取得の意思があったかどうかということです。今回の意見欄では「上位者の“休む”強い意思表示」「工程会議にて事前調整を行った」という前向きな言葉が多く見られ努力していただいている姿が目につかびます。あとは、きっちり取り組んだが天候不順等で土曜日に出勤せざるを得なかった場合の振替休日をいかに取得するかが大きな課題といえます。「法律で休みにしないと無理」・「業界全体へアピール強化を行って欲しい」というご意見も多々ありましたが、違った角度から現状を見つめ直し、出来ている他の部署を参考にしながら、取り組んでみてください。

今回の特徴的な点として、各社休日取得率が昨年より高くなっていること、地域別で見ると東北地区・中部地区の閉所率が高くなっていることが挙げられます。数値を見ても一目瞭然ですが、三井住建道路以外の低い単組の頑張りが全体の底上げに繋がっていくと言えます。微増ではあっても、数値に取り組みの跡が見えるのは、明るい未来を連想させます。





単組別事業所閉所率(合材)

	11月5日	11月12日	11月19日	11月26日	事業所数	平均
大林	2.7%	48.6%	5.4%	8.1%	37	16.2%
大成	11.4%	31.4%	14.3%	20.0%	35	19.3%
東舗	50.0%	66.7%	66.7%	50.0%	6	58.3%
NIPPO	11.0%	37.3%	11.9%	10.2%	127	17.6%
前田	1.9%	34.0%	2.9%	1.9%	103	10.2%
三住	21.4%	28.6%	14.3%	28.6%	14	23.2%
全社	8.4%	37.1%	9.7%	9.9%	322	16.3%

地域別事業所閉所率(合材)

	11月5日	11月12日	11月19日	11月26日	事業所数	平均
北海道	9.1%	18.2%	9.1%	9.1%	22	11.4%
東北	8.2%	38.8%	8.2%	8.2%	49	15.8%
関東	11.6%	65.2%	11.6%	11.6%	69	25.0%
中部	2.9%	2.9%	8.6%	2.9%	35	4.3%
関西	0.0%	3.1%	6.3%	6.3%	32	3.9%
中国	2.3%	67.4%	4.7%	4.7%	43	19.8%
九州	19.5%	26.8%	14.6%	12.2%	41	18.3%
北陸	13.3%	33.3%	20.0%	20.0%	15	21.7%
四国	6.3%	37.5%	6.3%	31.3%	16	20.3%
全国	8.4%	37.1%	9.7%	9.9%	322	16.3%

単組別休日取得率(合材)

	11月5日	11月12日	11月19日	11月26日	組合員数	平均	振休加算	振替取得
大林	41.8%	75.4%	48.4%	49.2%	122	53.7%	61.3%	16.4%
大成	61.5%	72.5%	63.7%	62.6%	91	65.1%	69.5%	12.6%
東舗	47.4%	63.2%	63.2%	52.6%	19	56.6%	56.6%	0.0%
NIPPO	55.3%	62.6%	58.5%	56.1%	123	58.1%	61.6%	8.3%
前田	58.2%	81.1%	62.1%	63.5%	438	66.2%	74.4%	24.2%
三住	69.4%	85.7%	75.5%	79.6%	49	77.6%	82.1%	20.5%
全社	56.2%	76.5%	60.6%	60.9%	842	63.5%	70.1%	18.6%

振替率は休めなかった人が振替休日を取得した割合

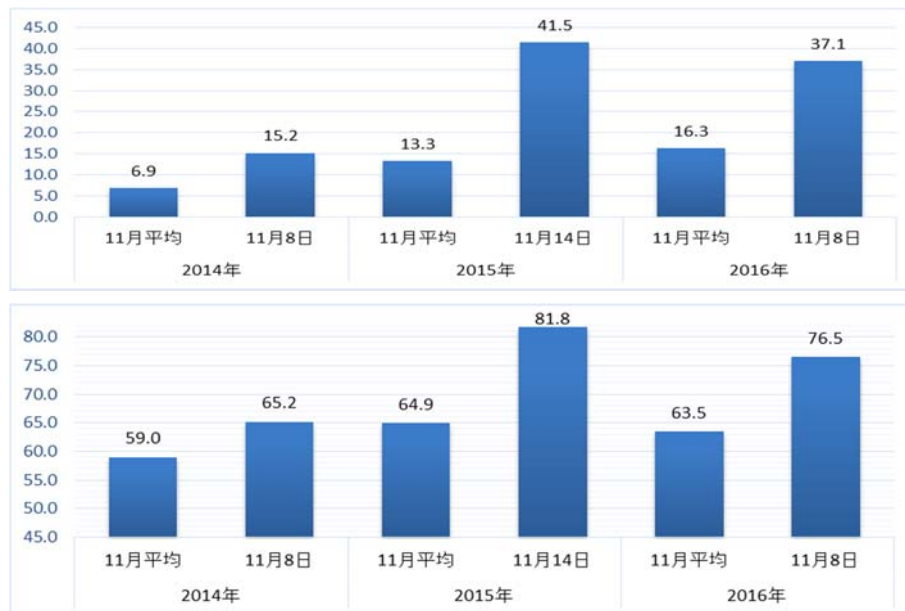
地域別組合員休日取得率(合材)

	11月5日	11月12日	11月19日	11月26日	組合員数	平均	振休加算	振替取得
北海道	43.3%	56.7%	56.7%	60.0%	30	54.2%	61.7%	16.4%
東北	54.3%	62.2%	52.0%	55.1%	127	55.9%	64.4%	19.2%
関東	61.3%	89.1%	63.2%	62.3%	302	69.0%	73.2%	13.6%
中部	53.0%	63.0%	56.0%	53.0%	100	56.3%	67.0%	24.6%
関西	59.8%	67.8%	70.1%	71.3%	87	67.2%	77.6%	31.6%
中国	42.2%	85.9%	43.8%	43.8%	64	53.9%	60.5%	14.4%
九州	68.8%	80.0%	76.3%	73.8%	80	74.7%	80.9%	24.7%
北陸	38.9%	66.7%	44.4%	55.6%	18	51.4%	51.4%	0.0%
四国	43.8%	90.6%	68.8%	84.4%	32	71.9%	77.3%	19.4%
全国	56.2%	76.5%	60.6%	60.9%	842	63.5%	70.1%	18.6%

振替率は休めなかった人が振替休日を取得した率

●<製品部門の閉所率・休日取得率 過去3年間の推移（全体と第2土曜日）

（上：閉所率、下：休日取得率）



製品部門は閉所率については16.3%（前年11月+3.0%）と上回り、休日取得率については、63.5%（前年11月-1.4%）と下降しています。第2土曜日だけをフォーカスしても、閉所率・休日取得率ともにダウンしています（前年11月閉所率:41.5%・休日取得率:81.8%）。ただし、第2土曜日以外で閉所を実施する取り組みが進んできたことが結果から伺えます。

地域別の閉所率については、関東の第2土曜日65.2%（前年11月・65.2%）と中国地方について高い数値を示しております。また、第1・3・4土曜日においても閉所する意識が波及している結果が表れています。強い口調になってしましますが、第2土曜日だけでなく、他業界と同じように緊急性のあるものを除いて”土曜日は必ず閉所する”という意識と行動、そしてそれを継続していくことが今後のポイントとなりますので、引き続き上位者の強い決断と実行力をお願いいたします。

休日取得に目を向けてみますと、日合協の計画的連続休暇の取得促進についての取り組みや関東の閉所活動が追い風となっているものの、前年11月の結果を若干下回っており、昨年の勢いが弱まった印象を受けます。しかし、振休取得率は18.6%（前年11月+0.9%）と微増ではありますが上昇しています。”閉所できなくても必ず休みを取得する！”という意識がこの数値に表れています。

昨年もお話ししましたように、業界・労使一体となって、意図を持った取り組み、その努力が結果に表れるよう引き続き活動していただきたいと思います。一歩ずつ、できる事から進めていけば必ずと未来は切り開けます。諦めず、高い意識を持って、一緒にこの閉所活動を一緒に続けていきましょう。

## ●土曜日閉所出来なかった理由

- ①土曜日指定の工事・出荷があるため。
- ②営業打合せ、作業打合せなど得意先からの要請があるため。
- ③下請け・作業員の作業に立ち会う必要があるため。
- ④天候などの影響により工期が遅れているため。
- ⑤もともと工期に余裕がないため。
- ⑥配置人員が少なく、業務量に追いつかないため。
- ⑦制度上休みではないため。
- ⑧職場に休みにくい雰囲気があるため。
- ⑨年間を通じた交代制などで休日を確保しているため。
- ⑩顧客への提出書類（見積書、工事書類等）作成の内業があるため。
- ⑪社内書類（月次書類等）作成の内業があるため。
- ⑫その他（回答欄記述）

1位
2位
3位

## ●2016年11月

理由	11月5日				11月12日				11月19日				11月26日			
	全体	工事	合材	支店他	全体	工事	合材	支店他	全体	工事	合材	支店他	全体	工事	合材	支店他
①	40.0%	26.5%	70.6%	17.4%	34.1%	24.6%	60.0%	20.0%	37.1%	23.5%	66.3%	15.9%	37.3%	23.4%	67.1%	20.0%
②	7.2%	9.0%	3.6%	6.5%	6.2%	6.7%	5.4%	2.9%	6.3%	7.5%	3.8%	6.8%	5.8%	5.9%	5.7%	5.0%
③	11.6%	16.9%	2.6%	0.0%	14.9%	19.4%	6.3%	0.0%	11.5%	16.2%	4.1%	0.0%	11.9%	17.4%	2.5%	2.5%
④	7.2%	10.2%	2.3%	0.0%	8.9%	11.3%	4.4%	0.0%	7.8%	10.5%	3.8%	0.0%	8.1%	11.2%	3.2%	0.0%
⑤	10.8%	16.0%	1.3%	4.3%	12.2%	17.5%	1.5%	0.0%	12.7%	19.6%	1.4%	0.0%	12.1%	18.5%	1.1%	0.0%
⑥	6.4%	8.6%	2.0%	6.5%	7.3%	8.5%	3.9%	8.6%	7.7%	9.8%	3.4%	9.1%	6.8%	8.8%	2.5%	10.0%
⑦	1.9%	1.0%	4.0%	0.0%	0.9%	0.6%	2.0%	0.0%	2.9%	2.3%	4.5%	0.0%	1.9%	1.4%	3.2%	0.0%
⑧	0.1%	0.2%	0.0%	0.0%	0.1%	0.2%	0.0%	0.0%	0.1%	0.2%	0.0%	0.0%	0.2%	0.4%	0.0%	0.0%
⑨	2.9%	1.0%	7.3%	0.0%	3.1%	1.2%	8.3%	0.0%	3.3%	1.1%	8.2%	0.0%	3.8%	1.1%	9.5%	0.0%
⑩	4.0%	5.3%	0.3%	10.9%	5.5%	6.0%	2.0%	20.0%	5.2%	6.2%	1.4%	18.2%	6.0%	7.7%	1.4%	15.0%
⑪	6.6%	4.9%	4.3%	43.5%	3.8%	2.6%	2.4%	28.6%	3.6%	2.3%	1.7%	31.8%	3.9%	2.9%	2.1%	30.0%
⑫	1.4%	0.5%	1.7%	10.9%	3.0%	1.4%	3.9%	20.0%	1.8%	0.7%	1.4%	18.2%	2.2%	1.3%	1.8%	17.5%

## ●2015年11月

理由	11月7日				11月14日				11月21日				11月28日			
	全体	工事	合材	支店他	全体	工事	合材	支店他	全体	工事	合材	支店他	全体	工事	合材	支店他
①	36.8%	22.9%	67.9%	16.3%	31.9%	20.4%	62.7%	16.7%	33.9%	19.8%	63.8%	18.6%	34.5%	19.1%	68.2%	19.5%
②	7.1%	7.5%	6.4%	6.1%	6.9%	7.1%	5.9%	9.5%	7.9%	9.1%	5.9%	4.7%	7.1%	7.6%	6.2%	7.3%
③	15.0%	21.4%	3.0%	8.2%	14.5%	19.8%	2.9%	9.5%	13.6%	19.4%	3.4%	4.7%	14.3%	20.1%	2.6%	12.2%
④	6.7%	9.2%	2.1%	4.1%	7.7%	10.0%	2.9%	4.8%	7.8%	10.9%	2.5%	2.3%	8.9%	12.2%	2.3%	7.3%
⑤	10.5%	15.5%	0.6%	8.2%	13.6%	19.8%	0.0%	7.1%	11.0%	17.0%	0.0%	4.7%	11.3%	16.9%	0.6%	4.9%
⑥	7.2%	9.3%	1.8%	14.3%	7.5%	10.0%	1.5%	7.1%	8.5%	11.5%	1.6%	16.3%	7.2%	9.8%	1.6%	9.8%
⑦	2.1%	0.5%	5.8%	0.0%	1.6%	0.4%	4.9%	0.0%	3.7%	1.4%	8.4%	2.3%	1.8%	0.5%	4.9%	0.0%
⑧	0.2%	0.3%	0.0%	0.0%	0.4%	0.6%	0.0%	0.0%	0.2%	0.3%	0.0%	0.0%	0.3%	0.5%	0.0%	0.0%
⑨	3.3%	1.4%	7.3%	2.0%	3.7%	1.4%	9.3%	2.4%	3.8%	1.9%	7.8%	2.3%	3.6%	1.7%	7.5%	2.4%
⑩	4.9%	6.6%	0.9%	8.2%	5.3%	6.3%	0.0%	19.0%	6.2%	6.8%	2.8%	23.3%	6.3%	7.6%	2.6%	14.6%
⑪	5.2%	4.7%	2.7%	28.6%	2.7%	2.4%	2.0%	9.5%	2.5%	1.6%	2.2%	18.6%	3.4%	3.3%	1.9%	14.6%
⑫	1.2%	0.8%	1.5%	4.1%	4.1%	1.6%	7.8%	14.3%	0.8%	0.3%	1.6%	2.3%	1.3%	0.8%	1.6%	7.3%

## ●2014年11月

理由	11月1日				11月8日				11月15日				11月22日				11月29日			
	全体	工事	合材	支店他	全体	工事	合材	支店他	全体	工事	合材	支店他	全体	工事	合材	支店他	全体	工事	合材	支店他
①	37.5%	23.6%	73.2%	17.9%	34.1%	20.5%	66.7%	27.1%	33.5%	19.1%	70.2%	22.0%	33.5%	19.2%	68.9%	23.3%	33.4%	19.1%	69.2%	21.3%
②	7.9%	9.2%	3.3%	16.1%	8.8%	10.0%	5.3%	12.5%	8.7%	10.1%	4.2%	14.0%	8.4%	9.9%	3.9%	14.0%	7.4%	8.5%	5.0%	6.4%
③	12.5%	17.7%	1.8%	7.1%	13.4%	18.6%	2.9%	6.3%	14.0%	19.8%	1.5%	6.0%	12.6%	17.6%	2.4%	4.7%	12.5%	17.8%	1.2%	6.4%
④	5.6%	7.2%	2.6%	1.8%	6.9%	8.4%	4.5%	2.1%	7.2%	8.9%	4.6%	0.0%	6.3%	8.0%	2.8%	2.3%	7.2%	9.2%	3.8%	0.0%
⑤	10.6%	15.4%	1.1%	3.6%	11.6%	16.8%	1.6%	2.1%	11.7%	16.1%	1.9%	6.0%	12.6%	17.7%	2.0%	4.7%	12.5%	17.5%	1.9%	6.4%
⑥	8.1%	10.3%	2.9%	8.9%	9.4%	11.4%	4.1%	12.5%	10.2%	12.8%	3.4%	12.0%	10.5%	13.0%	3.9%	14.0%	9.5%	11.9%	3.1%	12.8%
⑦	2.1%	1.4%	3.3%	3.6%	1.3%	0.9%	2.1%	2.1%	1.2%	0.6%	2.3%	2.0%	2.0%	1.5%	3.1%	2.3%	1.3%	0.7%	2.7%	2.1%
⑧	0.3%	0.3%	0.4%	0.0%	0.5%	0.4%	0.8%	0.0%	0.4%	0.3%	0.8%	0.0%	0.3%	0.3%	0.4%	0.0%	0.4%	0.3%	0.8%	0.0%
⑨	2.4%	1.0%	6.3%	0.0%	2.9%	1.3%	7.4%	0.0%	2.6%	0.5%	8.4%	0.0%	2.7%	0.5%	8.3%	0.0%	2.3%	0.5%	6.9%	0.0%
⑩	5.9%	7.9%	0.0%	12.5%	6.3%	8.2%	0.4%	14.6%	6.1%	7.9%	1.1%	10.0%	7.0%	8.9%	1.6%	14.0%	7.5%	9.7%	0.8%	17.0%
⑪	5.7%	4.8%	3.7%	25.0%	3.2%	2.7%	2.5%	12.5%	2.6%	2.7%	0.0%	16.0%	2.3%	2.3%	0.8%	11.6%	4.1%	3.8%	3.1%	14.9%
⑫	1.4%	1.1%	1.5%	3.6%	1.5%	0.9%	1.6%	8.3%	1.8%	1.1%	1.5%	12.0%	1.7%	1.0%	2.0%	9.3%	1.7%	1.0%	1.5%	12.8%

●休日取得や時短を進めるために今後望まれる点

- ①適正な人員配置
- ②社外書類の削減
- ③社内書類の削減
- ④上位者からの指示・指導
- ⑤職場の話し合い
- ⑥協力会社の育成
- ⑦業界全体による得意先に対する土曜休工の要請

2016年11月

2015年11月

2014年11月

	全体	工事	合材	支店他
①	24.7%	24.6%	22.2%	28.8%
②	5.0%	5.9%	3.5%	4.1%
③	12.9%	13.5%	9.5%	16.6%
④	9.5%	8.7%	7.9%	15.4%
⑤	6.1%	5.5%	5.5%	9.4%
⑥	9.4%	12.0%	7.0%	3.4%
⑦	32.5%	29.8%	44.4%	22.3%

	全体	工事	合材	支店他
①	25.9%	25.7%	22.7%	32.4%
②	5.8%	7.3%	3.8%	3.0%
③	11.0%	12.4%	7.5%	11.7%
④	9.2%	8.8%	6.2%	16.1%
⑤	7.2%	6.4%	7.5%	9.7%
⑥	8.0%	9.7%	7.0%	3.0%
⑦	32.9%	29.5%	45.2%	24.1%

	全体	工事	合材	支店他
①	24.9%	24.8%	21.1%	32.0%
②	6.0%	7.1%	4.0%	4.5%
③	10.8%	11.8%	5.6%	15.4%
④	8.4%	7.8%	7.8%	12.1%
⑤	7.6%	8.2%	6.7%	6.5%
⑥	8.5%	10.5%	6.7%	2.4%
⑦	33.9%	29.8%	48.2%	27.1%

閉所出来なかった理由としては、毎年同じような内容で、工事部門と製品部門がそれぞれ「土曜日指定の工事・出荷があるため」を一番に挙げています。

工事部門では、「土曜日指定の工事」「下請け・作業員の作業に立ち会う必要がある」「もともと工期に余裕が無い」という三つの理由がすべての土曜日で上位を占めています。天候の影響による工期の遅れ以外に、最初から工期に余裕がなかった、工程の都合で結果として工期がなくなってしまった等、色々な事情があると思いますが、大切なのは事前の準備であり、計画的に取り組んでもらうことです。突発的な仕事や工期のない仕事は仕方ないにしても、振替休日を取れるような取り組みを続けて欲しいと思います。

製品部門においても昨年と変わらず、「土曜日指定の出荷があるため、土曜日は閉所出来ない」という理由が大半を占めております。前述でお話ししましたが、南関東5都県の閉所活動が素晴らしい結果を今年も示しました。この結果が昨年以上に全国に波及していき、数値の低い中部地区・関西地区で活性化できるように、我々道建労協も積極的に広報を行っていきます。組合員の皆様には引き続きご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

最近の新聞記事でも注目すべきテーマの“労働時間”。世間の論争はますます熱を帯び、1年前には考えも及ばなかったことが当たり前・常識となり、行政も世論も働き方の変革を求めています。そんな今だからこそ、我々組合員が真摯に向き合い、労使一体となった“時短と職場環境の改善”に努める必要があります。そして同時に、“業績の線引きをどこで行うか”“企業として優先すべき案件は何なのか”等の様々な決断を経営者に求められている気がします。何より大切なのは人であり、人がいるからこそ企業は成り立ちます。危機的状況の今を乗り越え、次の世代に明るい未来を引継ぐためにも、職場環境の改善を積極的に進めていきましょう。その行動が皆さんと実施している土曜閉所の躍進へも繋がるのです。